

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.2.27 第 169 回国会第 5 号

2月27日、第5回の委員会が開かれました。

1 道路整備費の財源等の特例に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）大分県知事	広瀬 勝 貞君
都市交通分析モデル開発者	松 下 文 洋君
専修大学商学部教授	太 田 和 博君
奈良自治体問題研究所事務局長	小 井 修 一君

（質疑者及び主な質疑内容）

杉 田 元 司君（自民）

- ・道路の中期計画に対してどのような評価をしているか。
- ・暫定税率を廃止し、一般財源化することによる影響をどのように考えるか。特に、地方公共団体の道路整備予算に与える影響をどのように考えるか。
- ・日本の道路投資が過大すぎると松下参考人が考える根拠は何か。また、暫定税率廃止による経済波及効果の額について、根拠を示していただきたい。

後 藤 齋君（民主）

- ・一般財源化した場合には、知事が優先順位を判断し道路整備がなされることになるが、このことについてどのように考えるか。また、地方の道路整備予算の総額が現在のまま確保された場合には、一般財源化してもよいと考えるか。
- ・道路の中期計画における費用対効果分析の問題点についてどのように考えるか。
- ・太田参考人から、小泉改革の基本は意思決定の分権化が本質で一般財源化はこの基本に逆行しており、また、ガソリン税は利用料金として税負担しているものであるとの発言があったが、その内容を説明していただきたい。

高 木 陽 介君（公明）

- ・地方の道路整備が遅れているにもかかわらず、自動車の保有台数等から見ると地方の方が多く納税しているという状況にあるが、納税者の公平感からみてどのように考えるか。
- ・一般財源化と受益者負担の両立について、どのように考えるか。
- ・高速道路料金を国の負担で引き下げて利用者負担を軽減することについて、どのように考えるか。

穀 田 恵 二君（共産）

- ・高速道路の整備が渋滞対策の切り札となるかどうかについて、どのように考えるか。
- ・高速道路重視の予算配分が生活道路の整備や維持補修の費用を圧迫している状況について、詳しく説明していただきたい。
- ・道路建設における意思決定プロセスの透明性は必要であると考えますが、その点について、どのように考えるか。